

最強勇者の僕がTS魔法で

魔王ガチ恋メス淫魔に

なるわけがない





……
アルヴェン

わ、私達……
勝てると思う……？



この先に
魔王が……



なんだよ
いまさら
怖くなったのか？

……シア
僕は
最強の勇者だぞ



貴方の
そういう
ところが

心配だって
言ってるの
……でも

ここまで来たんだものね
最後まで
信じてあげるわよ



魔王なんか
負けるわけが
ないだろう？

はあ……
あのね？

魔王ッ

お前を
倒しにき……!?

……
オーエン様

え……っ?
コイツら
何して……

チッ……
また勇者か

何度殺つても
次々新しいのが
湧いてきやがる

なア?
ルトナ

ええ
全く……

アルヴェン……ッ!!

この魔力……ッ
マズい……!!

鬱陶しくて
仕方がないですわね

次の
攻撃がこない…？

お、おい……
寄るなよ……
どういうつもり……ッ

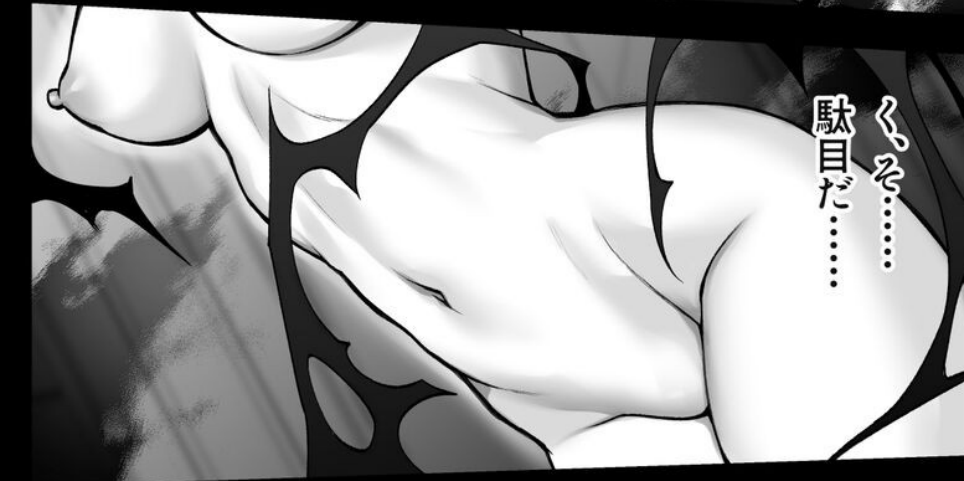
あらあら

近くで見ると
思ったより
可愛いお顔

こんな状態で
何言ってる……

貴方

殺すには少々
勿体ないですね



そう……
そうだ

僕が
皆を
守りたい

……え？
これ……
僕の身体だよな？

女に……
なってる……？

どうですか？
オーエン様

この子……
とっても
可愛いでしょう？

一体どうして
こんなことに……？



……ははっ
俺の好みが
よく分かってんな

残りは
連れていけ

お前の好きに
して良いが……
殺すなよ？

チッ

……
♡

ええ
勿論ですわ

まっ……
待て!!

僕の仲間に
何する
つもりだッ!

お前はまず
自分の心配しろよ
勇者くん

触るなっ!
離せよ……!!

早く
皆を助けに
行かないと……

うるせエな
少しは
落ち着け

クソ……ッ!
全力なのに
びくともしない

こんなヤツ
男の時なら簡単に
振り払えるのにッ!

おい
ジロジロ
見てんじゃねエよ

女の身体って
こんなにも
非力なのか……!?

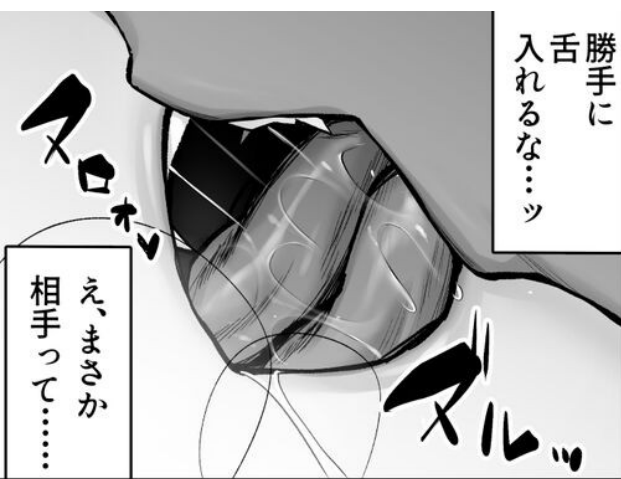
ッ……!

……あれ?
な、何で僕が
怯んでるんだよ?

さっきはよくも
邪魔してくれたな

お前
代わりに
相手しろ

……は?



勝手に
舌
入れるな…ッ

え、まさか
相手って……



む……
無理無理！

そんなこと
出来るわけッ



まてッ
僕は男だぞ!?



キ
キス……
されてる!?

お前
何
言って、ッ



お……
落ち着け僕
一旦冷静に……

ッ！ああもう
しつこいな……ッ！
いつまで続ける気だ



身体
浮いてんだよッ





こ……
こんな知らないッ

ちゃんと
聞いてやるから
言ってみろよ

ああダメだ！
意識するな……ッ



そうそう
アルヴェン君は？

ッ、うう！

絶対……



アルヴェンだッ

あ……
くっ

こんな
身体になっても



ぼ、僕が
負ける訳がない



勇者の
あア
覚えてねエわ

馬鹿に
してられるのも
今だけだぞ……



ははっ！
可愛そうなヤツ



お前を殺す……ッ
殺してやる……！

セク

セクッ



その身体
疼いて
堪んねエだろ？

僕……
いった……？

魔族のメスは
優れたオスに
触れられると

孕むまで発情
し続けるように
出来てんだよ

なっ!?

ほんとと
メスの身体は不便で
たまんねーよなア？

そ
そんな……ッ

ただ女の身体に
されただけ
じゃないのか…!?

タタ

ははっ
その顔
興奮すんなア

……あれ？
もしかして
かなりマズい状態？

ぐぐぐ



その身体
使って
相手して貰うか

ぐぐぐ

いや、無理だろ……！
女の身体で
男相手とか……ッ

んじゃ
そろそろ



触れよ

ぐぐぐ

ひっ……！
もう
大きくなって……



これ……
僕の身体で……？

勃起きつてないよな？
でも
僕のより大きい……

ぐぐぐ

は……

は……

こんなの
挿入れたら……ッ

ドグニッ





あ 熱い……ッ

男なら
良いところ
わかんたろ？

グッ

そんなこと
言われても……ッ

と、とりあえず
舐めれば……？

シロ

……

お前さア
もしかして

はざっ

童貞？

ヒクッ

ガッ

ッ……

はっ
図星かよ

満足に出来ねエなら
他の仲間でも
使うか？

ま、までッ
まだ……っ！

じゃ
この下品な乳
使って奉仕しろ

お
レツ

ブルンッ

ハッ
ハッ
ハッ

ッラ
そんな、ああッ！

グッ
グッ
グッ

お……
お前な……ッ！

仲間には
手出されたく
ないんだろ？

なら
やって
みせろよ

……今は、仕方ない

これ……

むず……

クワッ

早くしろよ

乱暴に
扱いやがって……

その方が
やり易いだろ？

……
悪趣味だな
コイツ……

くそっ
意識すると
重い胸……

うるさい
わかってる……！

みち

は……
挟めば
良いんだよね？

おい

ト回オ……♡



やる気
あんの？



は？
エロい声
出てんぞ

あっ♡
乳首
さわんなッ



へえ……お前
ここも弱エのか

ちっ
ちが……あッ



男のくせに
こんな硬くして
恥ずかしく
ねエのかよ

やっ♡



言いたいこと
あんなら
はつきり言えよ

だから

感じて
なんか……ッ



その状態で
通用すると
思ってるの？

アル……

アル……

くっ……

脚
開いてろ

ずず……♡

俺が
確認してやる

ちよ……っ

……は
ぐちゃぐちゃ
じゃねエかよ

アル……♡

聞こえてる
よなア？

この音

は、

本当に
違うんだ……ッ

発情汁まみれで
メス臭くて
堪んねエぞ

くはぁ……♡

あー……
やっぱ我慢
出来ねエわ

クク……♡

早く……
本気になる前に
逃げなきゃ……

クク……♡

このまま
続き
しちゃうか

あ……え？



残念ハズレ
もう三本
はいつてんぞ

え……？
ま、まてっ



待つと
思うか？

今いったらダメ♡
またナカ
拡がっちゃ…ッ



あ……無理だ♡
弱点バレてるッ♡
イカされるうっ…♡

大人しく
イっとけ
雑魚メス

やだっ♡
やだあっ♡

や、ああッ



勇者くん
今何本
入ってると思う？

ああもう
何やってんだ
僕……ッ

に……
ほん……？

グッ……

ずっと
コイツに
されるがままで

むっ……

このままじゃ
本当にちんぽ
ハメられちゃうのにッ♡

くちゅっ♡

くちゅっ♡

くちゅっ……♡

グッ……

グッ……

グッ……



まだまだ
余裕そうだな…ッ

嘘だろ
コイツ……ッ
一気に……っ!!

僕、初めてなのに…
ああ、絶対殺すッ
殺してやる……っ♡

だっ
黙れっ♡

んぐっ
うう……ッ♡

こんな無理矢理に
女の快楽
教え込まれてっ♡

おい
噛むなよ

頭がどうにか
なりそうだ…ッ

跡
残ら

おい
泣くなつて
男の子だろ?

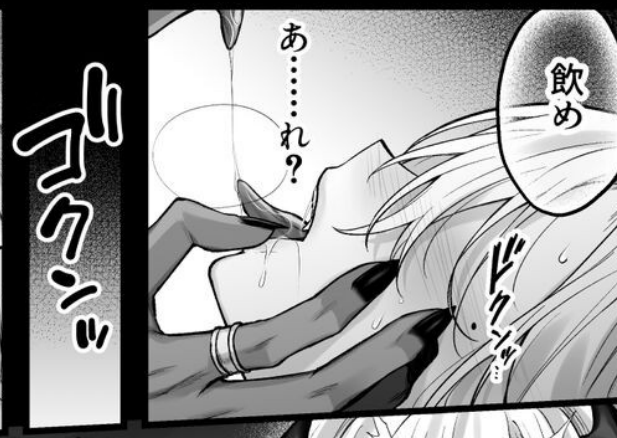
く……っ

な、何だよ…ッ!?
あんまり近くで
顔見るなつて……

……はあ
お前はさア

誰の
せいだとッ

ッ
さっさと
続き言えよ……!!





は……？
あれ？
今の僕の声……？



ま、もう
遅いけどな

あ……ッ
これやばいとこ
まではいつてッ



声、抑えられないッ
こんなの
続けられたら……ッ



抜けっ
抜けよおッ

おまんこ
壊される……ッ

ああ？



ははっ
その下品なメス声
すげー
チンポに効くわ

お……ッ
この体勢
子宮潰れるッ

体格差考えろッ
無遠慮に体重
掛けんなってえ……ッ



俺に命令してんじやねエよ……ッ!

だめ♡だめえッ♡
コイツの形に
されちゃうッ♡

ドチュッ

ドチュッ

ドチュッ

く……そ……ッ♡
あまり勇者を
なめるなよ……!

ま、負けるな
ぼくう……ッ♡

へえ?
この状態で
よくそんな口が
利けんア



即イキ
してんじや
ねエよ

まだ
頑張っ
てみ
せ
ん
だ
ろ
?



おッ……♡
このちんぽッ
つよしゆぎむりらッ♡



ここで俺のこと
骨抜きにでも
してくれんの?

そ
そ
う
い
う
意
味
じ
ゃ
ッ



ッ!だから
休ませろって...ッ
僕を殺す気—



おい、舌
絡ませろよ

……あ、だめだ……
キスされると
頭おかしく
なつて……ッ

とろ……ッ

えろ……ッ

どうなつて
るんだよ……ッ



た、頼む
休憩……ッ

何?
ちっさくて
聞こえねエな

はッ!?
嘘つくな……ッ
僕はもう何回も
イってんだよ……ッ

それに恋人みたいに
抱き合つてするとか
ほんと
無理だから……ッ

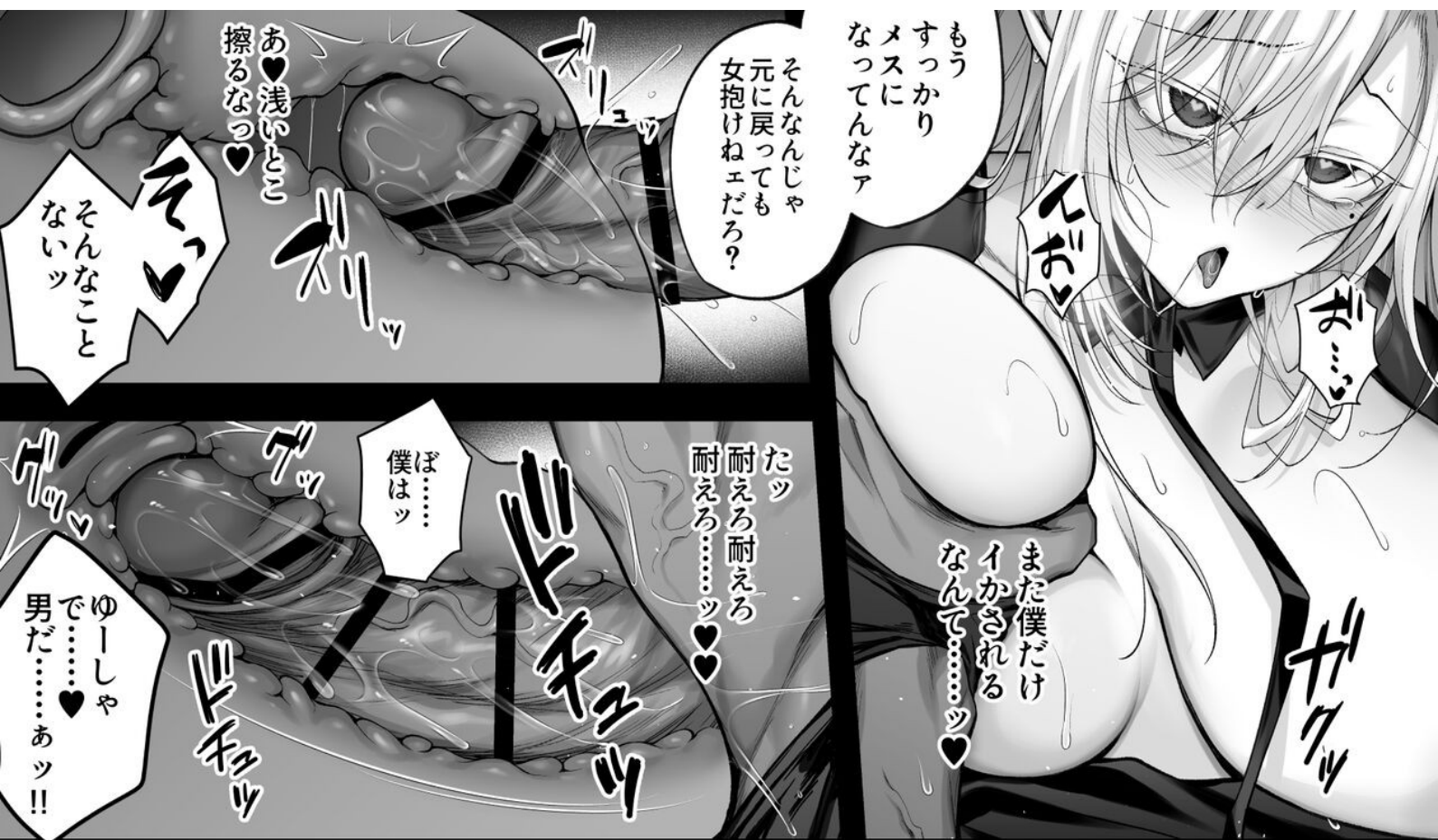


まんこ痙攣してんぞ
またイきそう
なんだろ?
ホントチョロいな

ああ……
否定できない……
乱暴に突かれるの
好き……ッ

一番奥まで届く
こいつのちんぽっ
好き好き……
大好き……ッ

いくいく……ッ
おまんこイぐらッッ



……で？
いつになったら
その腰落として
くれんの？

ま……まてっ！
そこっ♥は
触るな……って

や……やばい
コレなら主導権
握れると思ったのに……ッ

僕の弱点
丸出しじゃんっ♥♥

おい……
ワザとじや
ねエよな？

はあ……
今のノーカンに
しといてやるが

もう
我慢
出来ねエわ

ああッ!?!♥

まって
僕がやらなきゃ
すぐにッ♥

ほら
さっさと
いけ

キュン♥

ハッ♥
ハッ♥
ハッ♥

あ………だめ♥
イグってえ……ッ♥♥♥



はいお疲れさん
もう終わりだな

うそっ

ま
まだ

は早く男に
戻らないと
じやなきや……ッ

……なあお前
気付いて
ねエの？

ずっと
自分から
腰振ってんぞ

本当に
手遅れ……ッ

……え？



ち
違う……

いい加減
諦めろよ

アルヴェン

考えるんだ
考えて



もう
わかるよな

それは
僕が……

はは



なア



おとこ
勇者だったとき
よりもさア

今の方が
幸せだろ？

……どうして
僕がコイツに
勝てないのか

女だからだ

仕方ねエよな？

一度でも

これを知ったら元には戻れない

だからもう

楽になっちゃうよ

ほ……
欲しい……♡

フリー……♡

このちんぽで……♡
僕のこと
いっぱい犯してよ……♡

……ははっ
それで良い

コイツは
どうすれば女が
思い通りになるか
知ってるんだ

オチュンッ

お前は
俺の女だ

ズンッ

そんな相手に
僕が
勝てる訳ない……♡



アルヴィナ

へ……っ？
今なんて……ッ

キュン

キュン

チュ

い

……違う！
僕は
アルヴィンで……



アルヴィナ
愛してる

ッ♡
なんで僕
喜んでるんだ……ッ

ダメ、だろ……？
それ
名前までは……

い

い

い

い

い

僕以外にも
こういふこと
してるやつだぞ……♡

ま……おう……



オーエンだ

ああ……♡

名前で
呼べよ

……僕
どうかしてるよな
でもさ

い

全部コイツの
せいなんだ
だから……

い

ちよつとくらゐ
求めても良いよな……？

オーエン……
責任取れよお……♡

ああ
勿論だ

ちんばハメるくらいしか
利用価値のない
か弱い女の僕……♡

おい

もうそれで
良いんだ……♡♡

ッこれえ
好き♡

あは……

だって
この生き方の方が
幸せなんだもん♡

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ





一番奥に
出して……♡

欲しい……ッ
コイツの精子……♡

私のこと
幸せにして……♡

搾り取って
やる……♡

ッ……
最初から
そのつもりだッ

オーエンツ♡

は……
はやくうっ♡

もう他の女と
出来たら
くらっ……♡

私が一番
幸せだ……♡

あっ
お腹いっぱい
満たされて……♡

オーエンツ
もっ……♡

ほら貴女
ちゃんと
ご挨拶なさい

あ……っ
アルヴェン……！
助け……

ふふっ
誰のことだ？

私の名前は
アルヴィナだ

間違えるなよ
シア

え……？

驚いたか？
君の前ではいつだって
君の理想の僕
だったもんね

……でもね私
気付いたんだよ
女として生きる方が
幸せなんだって

だからさ
世界も君達も
全部……

もう
救えないんだ

ごめんね♥

最強勇者の僕がTS魔法で

魔王ガチ恋メス淫魔に

なるわけがない



あっ♡あっ♡

やっと来てくれた♡

ずっと待ってたんだからねっ♡

むず…♡

ドキ

ドキ

ちびっ♡

私には君がいないと
ダメなんだ…♡

ほら
はやっ♡

はま…♡

即入中出しで

私のこぼ

めちやんちやん♡

ムムムム

んっ♡

ふふっ♡
また私と
したいんだろ？

ちゅっ♡

良いよ…♡

むず…♡

キッ

キッ

はま…♡

この身体は
うっだろて
君のモノだからね♡

うっ

んっ…♡

おい
気取ってんじゃねーよ

俺が来るまで

オナってただろ？

部屋中ぐそくせえんだよ

おっ♡おっ♡

ごめっ♡ごめんなさる♡

ヒクッ

ヒクッ

今日は俺が満足するまで
まんこ使うからな

はははっ♡

あ♡イクうつ♡

イっちゃっ♡イクッ♡

ヒクッ

勝手にイクなよ

あッ♡まって、ッ♡

まだイってる…からあつ♡

俺に命令するなつて

言つたよな？

ヒクッ♡ひく♡

あハお…お願いしまっす♡
奥に押し付け、なげなえ…♡

（ごっ♡こんなの

すぐイカされちゃうに

決まってるだろお…♡）

ヒクッ♡

ヒクッ♡